

こんにちは 日本共産党の

竹永みつえ

です

発行
日本共産党岡山市議団
〒700-8544 岡山市北区
大供1-1-1 市役所内
TEL 086-803-1000
内線 2385
FAX 234-9388(直通)



台風被害について

～あらためて災害につよいまちづくりを!～

○早速! 地域を歩いて区役所に要望

9月3日と16日、台風12号・15号が岡山市を直撃しました。東区でも、冠水や山や畑の傾斜面の崩壊、宝伝では、ため池の決壊などもあり、避難勧告も出て体育館に避難された方もおられました。竹永議員はさっそく朝日学区の畑の崩壊や、瀬戸町の用水の状況など地元の方々と現地を歩き区役所や県に要望しました。

こんなに大きな被害があることがめずらしいので、市民にとっては避難勧告や避難指示の言葉の意味がわからない、自分の地域の避難所はどこにあるのか?ということをおあらためて市に聞いてくる方も多かったそうです。日ごろの啓発が重要だということ、あらためてその地域にあった防災



朝日学区

瀬戸町



マップや避難所の確保、啓発などが求められます。9月議会では避難所対応マニュアルを策定すると市は答弁しました。地域にあった対応、啓発を引き続き求めていきます。

○台風被災者にも住宅リフォーム助成制度が使えます!

台風12号に起因し罹災証明書の対象となった自己所有の家の修繕に住宅リフォーム制度を適用するように9月議会で党市議団が求め、その結果、従来の制度とは別枠で緊急募集をすることになりました。上限50万までの工事で1割の補助5万円がでます。すでに修繕されたところも罹災証明があれば大丈夫ですので、区役所にお問い合わせください。また被災世帯への各種税金や保険料の軽減もできますので区役所にご相談ください。

市立へいわかん(仮称)がデジタルミュージアムに!!

9月議会
論戦より~

15年以上前から岡山空襲の被災者の方々が中心となり、岡山に市立の空襲資料館を開設してほしいとの運動が展開されていました。このたびやっと、この願いに答えて9月議会所信表明でデジタルミュージアムの一部に開設することを表明。関係者から喜びの声が届いています。竹永議員も9月議会の個人質問で取り上げ、収蔵庫はどうするのか?学芸員は?などと具体的に聞きました。

市民団体がNPOで今開設しているへいわ館からも資料の寄付をもらい、今、市が持っているものと、どう掲示していくか今後、庁内の検討会議の中で議論するとの答弁。へいわかんは今のところ5階の一部を考えていること、収蔵庫は足りないの、岡山ふれあいセンターも利用すること、学芸員は福祉援護課の責任でへいわ館専任で雇用することなどがあきらかになりました。竹永議員は所属する保健福祉委員会でも一刻も早い開設とよりよい中身のスタートを求めて引き続き議論をしていきたいと決意を語っていました。

定数削減決まる! 東区は7→6へ ~これで市民の声が届くのか?~

議員定数を52→46へ減らすことが賛成多数で9月議会で決まってしまいました。連合町内会や婦人会から議員を減らせという要望が出ているから答えないといけないという理由だけで賛成をした議員がほとんどです。

なぜ議員を減らせというのか?議会がなにをしているかわからない、ということが大きな理由ではないでしょうか?市民の声をしっかり届け市民の目線で行政チェックをする本来の役割が市民に伝わらない限りどんどん減らせ!ということになるのではないのでしょうか?竹永議員は議会改革検討会議のメンバーとしても、議会改革は安易に議員削減、時間短縮に固執せず、情報公開を進め議会の質を高めることを求めています。

今回の議会でも46の数の根拠は提案した議員たちも説明できません。今でも東区は瀬戸町から犬島まで広範

困です。すみずみまでの意見を救い上げることは困難です。また少数意見も排除される可能性があります。議会費は全体予算のたった0.4%です。他の無駄遣いをきっちりチェックできる議員が必要です。今回の定数削減は竹永議員は以上の理由で反対しました。

報酬削減には賛成し、1ヶ月4万円の削減となりました。

~真の議会改革を~

竹永議員の所属する議会改革検討会議では、本会議、委員会のインターネット中継、本会議の一問一答方式・分割方式の導入、議会広報誌への質問者の名前の掲載、出欠の有無の掲載、市政報告会の開催などを議論し、より市民に開かれた議会になるように議論をすすめています。また議会基本条例の制定も議論しています。真の議会改革を求めて頑張ります。

幼・小・中の学校の 適正規模とは？

後楽館高校が 完全全日制に!? 岡山市に定時制高校は いららないの？

竹永議員は個人質問で、先日、市が発表した「幼・小・中学校の適正規模化についての考え方」について、適正の根拠をたどりました。

市教委は「過小規模校だと人間関係が固定化し、学習意欲や行動意欲が喚起されにくい。多様な生き方や考え方に触れる機会が少なく視野が狭くなりがち」とのべています。具体的なデータにもとづかない、ざっぱく感想のような理由です。今後、普通学級が6学級以下の過小規模校で現在複式学級を編成していたり、将来的に人口増の見込めない学校を、小学校は同じ中学校区内で統合するとの考えを示しています。幼稚園は10人以下の幼稚園を対象にしています。

今まで市教委は、岡山の中央小の統合のときや、足守の統合も、なぜこの地域なのか？

はっきりとした根拠もなく住民の声を十分救い上げないまま進めてきました。「今後この考え方を示しても、まず、地元調整、合意ありで一律にすすめない」と、竹永議員に教育長は答弁しました。学校は地域の核であり、文化、教育、交流の拠点です、学校がなくなることで地域が崩壊するという危惧もあります。教育分野だけでなく、その地域の街づくり全体を考えることが必要です。具体的に対象地域の皆さんと、その視点で議論し、市に声をとどけ拙速に進めないように求めていくことが重要です。

岡山市立岡山後楽館高校がH24年4月より、4年制の定時制高校から、3年制の全日制高校に移行する内容の条例が、9月議会で可決されました。その理由として、就労学生が6年間ゼロであったことを、市教委は述べていますが、実際は非正規やアルバイトの学生は今でもいるということがわかりました。若者の雇用は社会全体の課題であり、2人に1人が非正規と言う実態です。なのに、この就労学生の定義は正規労働者としています、それこそ時代に逆行しています。今現在4年生が18人在学しており、夜間授業の履修者も34人います。ニーズがゼロだとは言えません。以前のような集団就職で定時制を利用する生徒はいませんが、新たに高校中退が増えている実態や、発達障害や不登校など子どもたちの置かれている状況は多様で複雑です。だからこそ定時制の選択肢をここで狭めていいのでしょうか？後楽館が定時制でなくなると岡山市は鳥城高校だけになります。となりの倉敷市は、7校もあります。市全体の教育を考えてこの議案に反対しました。

国保料値下げ 10万人署名にご協力を!

今年度、国民健康保険料の値上げをストップさせたのは、3万筆の署名が大きな力になりました。来年も引き続き行動し、値上げをストップさせましょう!

10万筆署名にご協力ください。

東区で対象のところ	過小規模小学校	政田・開成・雄神・太伯・幸島・朝日・大宮・浮田・御休・角山・千種
	過小規模中学校	上南
	過小規模幼稚園	雄神・朝日・大宮・角山

市政トピックス

なぜ？今！ コンベンションホールなの!?

高谷市長は9月議会直前に、岡山駅前の林原駐車場の一部に市がコンベンションホールを建設したいと表明。市は財政を持ち直したということを発表したばかりですが、箱物か？と市民から疑問の声が出ています。この土地は先日、イオンモールが約200億円で買収することを発表しました。岡山市はこの土地の一部に、3000人収容できる会議場と展示場を一体的に設置したいとのことで、施設建設費は70～100億円で土地は別途購入と説明しています。大きなコンベンションホールがないから、岡山市にコンベンション誘致ができないのでしょうか？どうしても神戸や広島と比較すると都市格が違います。都市としての魅力作りが、多額な税金を投入してコンベンションホールを作ることでしょうか？まずは市民のいのちや暮らしにかかわる予算を急ぐ必要があるのではないのでしょうか？ちなみに子どもの医療費の無料制度は県下ワースト1です！

がん対策推進条例 記念シンポジウム！

岡山市がん対策推進条例は、議員が中心になって作った条例です。先日条例制定を記念して、シンポジウムが開催され、予防と、早期発見早期治療の大切さが語られました。ひきつづき条例を根拠に設置された推進会議で、計画策定などの具体化が実現します。竹永議員の所属する保健福祉委員会ではがん対策推進条例に続いて、今年度は「歯と口腔の健康について〔仮称〕」の条例も議員発議でつくろうと、市の歯科医師会から参考人を呼んで学習会をはじめました。

不適正な会計処理で、税金投入。 また多くの購入物品が所在不明、なぜ？

国の会計検査で、不適正な会計処理を岡山市が行っていたことが昨年指摘され、その後特別体制をとって市が調査を続けていました。これは国の補助金との関係で、使い切らなければいけないということで、購入の方法が業者に預け金をしてあとから購入したものや、請求したものと実際に買ったものが違う差し替えなどの間違った手法が慣例になっていたことが大きな原因です。さかのぼって事実を解明し再発防止に努めるよう党

市議団としても申し入れていました。9月議会ではこの指摘のあった不適正な経理を国に利子も含めて返還する補正予算が計上されましたが、これを市民の税金で返還する必要がないと、党市議団は反対しました。長崎県では、退職者も含めて返還金を負担させ国に返還しています。また今回、ひとつの課で5年間にわたって、請求したものと発注したものが違い、受注した物品（TV、DVDなど）が約322万円ほど所在不明になっていることが明らかになりました。私的な流用の可能性が高く、今後、刑事事件になる可能性が高いとのことです。

血税がいいかげんに使われていたこと、またその返還も血税、そして私的流用などは言語道断です。今後、再発防止に市は全力を尽くすべきです。



東区役所に要望書提出 向州公園のトイレが水洗に。



日本共産党東区委員会(河井伸士委員長)は9月29日に、東区役所に19項目にわたる要望を提出し懇談しました。この懇談には、竹永議員と、石村智子東区生活相談部長、河井区委員長をはじめ9人の区委員、支部長、支部委員が参加し、道路のことから、先日の台風被害まで多岐に渡って申し入れました。

道路関係では、上道駅前のロータリーの改善、西大寺南小学校前の道路の拡幅、芥子山小学校付近の街灯などの要望は、すでに地元からも要望されているところでもあり、調査をして対応していきたいとのこと。

また向州公園のトイレの改修は、今年度中に水洗トイレに改善するよう努力をしているとのことでした。

今回の台風の被害についてはいち早く対応していく、防災については、あらゆる場合を想定し、地域の方と安全対策をつとめると、対応した岡山市東区川野区長をはじめ、担当課長が丁寧に懇談してくださいました。

ヌートリアなどの鳥獣対策はヌートリアがそもそもいまだに保護対象であり、限定期間以外はむやみに退治できないことについて、国にも要望しながら位置づけを改正したいとこたえてくださいました。

このほかに、区委員会としては旧瀬戸町区域に限って、瀬戸町地域センターに要望書を提出し別途懇談を持ってもらうように要望しています。

今日、即答できなかった部分については、後日回答を約束してくれました。

議会ごとに 市政報告!



議会ごとに党市議団そろって各区で市政報告会を開催しています。6月議会後は8月25日に百花プラザで開催しました。地域の役員さんをはじめ40人が参加してくださいました。「地域の防災計画は?」「ファジアーノに多額な税金投入をしていいの?」など具体的な質問もでて双方向のやりとりで活発な会となりました。

**9月議会報告は
10月27日(水)午後1時半～
上道公民館です。ぜひ!!**

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所

☎086-942-1780

毎週月曜日 生活相談 午後6時半～
第三水曜日 法律相談 午後6時半～
(弁護士もきます)

コープ西大寺診療所

☎086-944-0088

第四水曜日 午後6時半～
(要予約)

上道の党事務所

☎086-297-9515

第二水曜日 午後6時半～

*議会の日程の関係で急に中止になり場合もありますので事前にお電話を!